【第１回市民フォーラムの開催結果について】

１　日時

平成29年７月２日（日）　午後２時～午後３時35分

２　場所

金沢市消防局２階　防災センター（泉本町７－９－２）　〔定員:150人程度〕

３　主　催

金沢市介護保険運営協議会
金沢市介護サービス事業者連絡会

４　参加者数

37 名

＜アンケート結果に基づく参加者の内訳（回答者 32 名）＞

●参加者年代

20歳代未満	0人
20歳代	0人
30歳代	1人
40歳代	1人
50歳代	5人
60歳代	12人
70歳代	13人
80歳代以上	0人

・20～40歳代の若年、中年齢層が少なかった。

●参加者性別

男	15人
女	17人

・前回に比べ、男性の参加率が上がった。

●参加者の属性

介護サービス利用者	1人
介護サービス利用者家族	2人
ケアマネジャー	1人
居宅サービス職員	2人
施設サービス職員	1人
民生委員	4人
学生	0人
一般市民	14人
その他（※1）	5人
未回答	2人

※1　包括職員、社会福祉協議会
介護相談員、医療職等

・ケアマネジャー、居宅・施設サービス職員の参加が少なかった。

５　開催内容

(1)　「本市の介護保険の現状と課題について」
安 田　慎 一　委員

(2)　「元気になる介護予防の取り組み」

村 井　千 賀 氏
石川県立高松病院作業療法科 科長・作業療法士・保健学博士
（元厚生労働省老人保健課 課長補佐）

(3)　意見交換

進行　石 田　道 彦　委員

６　主な意見

(1)　住み慣れた地域で高齢者の暮らしを支えるためには何が求められるかという問いに対しては、「介護予防の推進」が一番多く、次いで「高齢者を支えるネットワーク」、「認知症施策の推進」という回答が多かった。
(2)　低所得者で特別養護老人ホーム対象外となる要支援から要介護２までの方が入所する施設の整備が必要である。（50歳代ケアマネジャー）
(3)　集いの場等について、小さい場所でもよいので、回数を増やして、多くの人が集まれるようにしてほしい。（60歳代一般市民）
(4)　集いの場等に参加されない方をどのようにして参加してもらうかが課題となる。（70歳代介護保険運営協議会委員）
(5)　認知症や運動等の各予防には、栄養の充実が必要である。（60歳代医療職）
(6)　地域包括支援センターが特別養護老人ホームの２階やデイサービスの２階にあるなど、本当に身近な相談場所なのかと思う。（50歳代ケアマネジャー）
(7)　地域住民の見守りや声かけが大切である。（60歳代民生委員）

７　その他

前日の悪天候の影響もあり、参加者が少なかった。アンケート結果より、介護サービス事業者や市民（若年者）の参加者を増やすため、チラシの配布枚数を多くすることや、専門学校への働きかけなど、金沢市介護サービス事業者連絡会と協力しながら、周知方法を検討する。